

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。日頃より、入居者(利用者)様、ご家族、地域の皆様、関係機関より暖かいご支援とご協力を賜り、無事新年を迎えることができたことを心より御礼申し上げます。

令和最初の琴の浦荘の1年は、色々とありましたが、全体的に安定したものであった事と思います。介護や福祉に限らず、世間一般的に人材不足と言われている中、琴の浦荘では、大きく人材不足となることなく、落ち着いている状況ではなかったかと振り返ります。「職員の安定が、施設の安定」に繋がっていると考え、今までの取り組みを大切に今年も施設の安定を目指して参ります。

昨年、取り組んだことについて紹介いたします。

● 喀痰吸引研修実施

医療的なケアについて、特定の研修を受けることで介護職員でも実施が可能となります。昨年は、18名の職員が修了しました。夜間帯等、看護職員が不在の時も介護職員にて早期の対応が可能となります。

● 実践発表会に外部事業所参加

第6回目となる発表会の実施を近隣地域の事業所にも案内し2事業所参加していただきました。心地よい緊張感の中、実施することができ、発表後の感想としても取り組みを評価して頂くようなあたたかいコメントを頂くことができました。

● NBCラジオ 番組内専門アドバイザー体験

ラジオ収録という初めての取り組みを11名の職員が体験しました。独特の雰囲気の中で、人に伝える難しさを痛感しましたが、各自の貴重な経験となりました。

● 琴の浦くunch・特養 家族会の同時開催

昨年同様にスムーズに開催できるか心配もありましたが、職員が主体的に考え、関係機関の協力を頂きながら、無事に実施する事ができました。

上記以外にも様々な取り組みを行ってまいりましたが、「職員の質の向上」が「ケアの質の向上」にも繋がっていきます。様々な経験を積むことで、その人の学びになると共に、日頃の業務に活かされていくものと思います。私たちのケアで、入居者(利用者)様が穏やかに生活し「暮らしの継続」の一旦を担っていると実感することが、職員の「仕事のやりがい」となります。今年も働き甲斐のある職場環境づくりを職員全員と共に取り組んで参ります。

今年は東京オリンピックの年です。世界的なビックイベントが日本で開催され、かなりの盛り上がりが見込まれます。その選手たちの活躍に期待するよう、わたしたちも皆様に「期待」され「安心」できる施設運営を行って参ります。今後とも皆様の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



特別養護老人ホーム 琴の浦荘
 施設長 松永 智志

餅つき大会

12月23日(月)



今年も餅つきの季節がやってまいりました。「ヨイショ!」の掛け声の中、入居者様やご家族の皆様にも餅をついていただき大変盛り上がりました。普段は物静かな方もきねを手に取ると目の色を変えて一生懸命に餅をついてくれました。琴の浦荘では毎年行っている行事ですが普段と違う入居者様、利用者様の姿を見ることができました。なにより入居者様の「楽しかった」とのお声をいくつも聞くことができました。入居者、利用者の皆様今年もよろしくお願いいたします。

クリスマス (特養)

12月25日(水)



職員がサンタに扮してみなさまといっしょに歌ったり、ゲームをしたりケーキを頂いたりしてクリスマスをお過ごししました。ささやかながらクリスマスプレゼントとして企画しましたが、ご覧のとおり逆に笑顔のプレゼントを頂いたように思います。

デイサービス

12月25日(水)



クリスマスケーキをみなさんと一緒に作りました。クリームやフルーツを盛り付け、立派なケーキが出来上がりました。利用者様も楽しく参加して頂き、素敵な出来栄になりました。最後はみなさんと美味しく頂きました。

看取り介護勉強会

12月26日(木)



長崎市榎山町にある天福寺の塩屋秀見住職をお迎えして看取り介護をテーマに講話をして頂きました。「今日只今、今の今に徹して充実した人生を歩みなさい」そのお手伝いをさせて頂いている私たちにとって心洗われる様なお話でした。

こすもすクラブ交流会

12月27日(金)



「ジャンボ年賀状」をデイサービス、特養の利用者様へ届けてくれました。子ども達より「来年も元気でいてください。」と声をかけられ年賀状を受け取ると、感激されていました。こすもすクラブの皆さん、また来てください。楽しみに待っています。